

吉見町フレンドシップ・ハイツよしみ（宿泊施設）  
施設活用に係るサウンディング型市場調査

実施結果

【調査の目的】

フレンドシップ・ハイツよしみの利用方法、施設の修繕改修、健全経営など市場性の有無や民間事業の参入の可能性、民間事業者が考える課題等を把握し、町にとって有効な条件整備を検討するため、民間事業者から意見や提案をいただくため調査を実施しました。

【調査期間】

令和3年12月8日（水）～令和4年3月31日（木）

【参加事業者数】

11事業者（宿泊事業者3者、金融関係事業者3者、不動産開発事業者1者、旅行関係事業者2者、個人（スポーツ関係）2者）

【サウンディング結果の概要】

施設について	施設・設備等の調査が必要 耐震対策が必要 大規模な修繕が必要 客室にバス・トイレが必要 ロケーションが良い
活用等について	立地から防災関係の活用が考えられる 運動施設のみの利用は考えられる 投資が可能であれば、宿泊施設の利用も考えられる 耐震未実施の建物の活用は難しい
その他	調査・修繕の投資は難しい 国等の補助を検討する必要がある スポーツの拠点としての位置づけ 八丁湖との一体利用 首都圏の利用が見込める立地

【結果を踏まえた今後の方針】

今回のサウンディング調査により、民間の目線で施設の状況・可能性についてご意見をいただきました。今後、サウンディング調査の結果を踏まえ、施設の在り方について整理、検討を進めてまいります。